

都市構造可視化計画サイトの活用 ～アイが大きい基山町での活用事例～




佐賀県 基山町
定住促進課 都市計画係

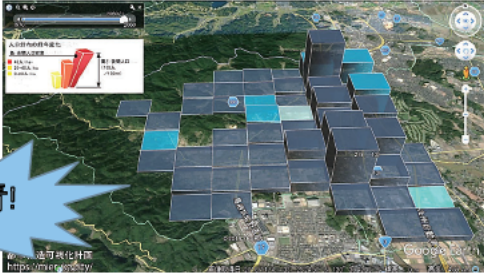
1. 職場内で

都市構造可視化研修で得た情報を忘れないうちに共有するため、課内の職員に対しサイト及び操作方法について紹介を行いました。
(写真、撮っておけばよかった)


<人口分布の経年変化>



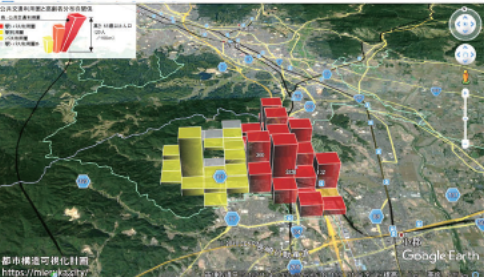
2060年の基山町



<公共交通利用圏と高齢者分布の関係>



JR沿線沿いと山手のはっきりと2極化



真っ青!
(*_*)

2. 職員の反応

職員から出た意見

<活用について>

○地図上に数値を重ねてみることでわかりやすく、住民説明会や各種審議会等で活用できそう。

○空家のデータを入れてほしい。高齢化率等と重ねあわせて、空家対策協議会への説明資料としたい。

○コミュニティバスの路線やダイヤの見直しに活用できるのではないか。

○庁内全体の様々な業務で活用の可能性がある。

<操作・機種について>

○3Dマウスの操作方法が難しいが、使いこなせたらゲーム感覚で面白そう。

<データについて>

○高齢化の進行が視覚化（高さは低く真っ青）されることにより、より一層深刻な問題であると感じた。

○前回の国勢調査以降に人口が下げ止まり、微増に転じているのでそのデータが反映されると違う結果になるのではないか。

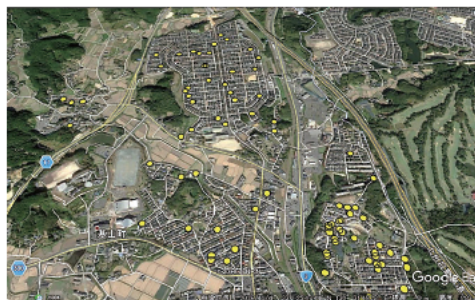
3. 具体的な活用（1）

空家データと人口分布を連動

- 町で保有する空家データを取り込んでもらい、人口分布と連動
- 町内の空家140戸のうち、市街化調整区域の空家は36戸（約25.7%）
- 大規模開発団地に空家も多いことが分かった。
- 大規模な住宅開発による一定の世代の転入が一時期に集中したことにより、近年は若年層の転出とともに急速な高齢化が課題。
- 引き続き空家と高齢化の関係を研究する。

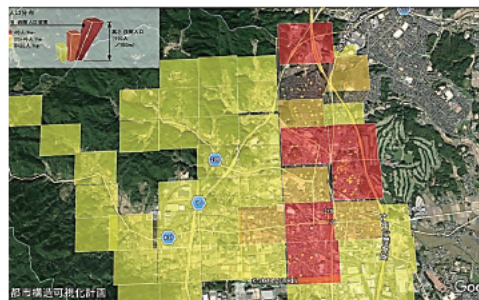


空家担当との意見交換



町内の空家分布（2019年）

補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用



赤色（開発団地）に空家が多い

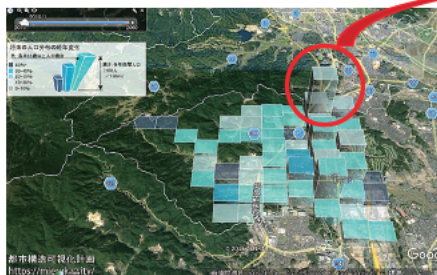
3.具体的な活用（2）

立地適正化計画策定に活用

- 前出の空家データと人口分布を連動させたものを居住誘導区域の設定に活用。
- 現時点で人口密度も高く人口も多い団地でも、空家が多く将来推計人口が減っている箇所は検討が必要という意見を業者から受ける。
- 空家であっても、管理されている空家（年に数回所有者が戻ってきている）ものも多数あるため、今後そのデータを反映させ、再検討することとした。



計画策定支援委託業者に説明



夜間人口が多いけやき台団地
(2010年)



夜間人口が2/3へ減少
(2060年)



空家が多数あり
(管理された空家も多数)

i-都市交流会議2020 補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

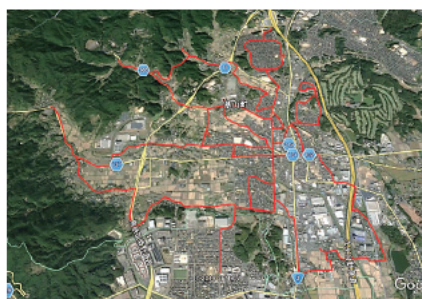
3.具体的な活用（3）

コミュニティバス路線データと公共交通利用圏と高齢者分布を連動

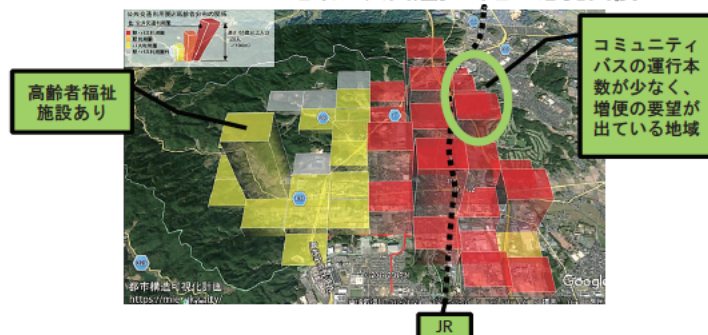
- コミュニティバス路線データを取り込んでもらい、「公共交通利用圏と高齢者分布の関係」と連動
- 山間部で高齢者数が突出して多いところには、高齢者福祉施設があるため、検討から外す。
- JR沿い西側はコミュニティバスの運行本数も多く、高齢者の足となっている。
- JR東側はコミュニティバスの運行本数が少なく増便の要望も出ている地域であるが、JRとの相互利用を含めて検討が必要。



地域公共交通担当との意見交換



コミュニティバス路線図



i-都市交流会議2020 補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN、Data Japan Hydrographic Association、Google Earthを使用

